

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	八ヶ岳少年自然の家	評価対象年度	平成28年度
事業者名	・事業者名 一般社団法人富士見町開発公社 ・代表者名 理事長 小林 一彦 ・所在地 長野県富士見町富士見6666番地703	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日	所管課	こども未来局青少年支援室

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 95,259人 (平成27年度:52,274人)	②年間延べ利用団体数 676団体 (平成27年度:404団体)																												
収支実績	単位:円																													
	<p>1 収入</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>指定管理料</td><td style="text-align: right;">258,600,000</td></tr> <tr><td>利用料金収入</td><td style="text-align: right;">8,549,580</td></tr> <tr><td>環境収入</td><td style="text-align: right;">2,258,580</td></tr> <tr><td>その他収入(食堂他)</td><td style="text-align: right;">95,194,567</td></tr> <tr><td>合 計</td><td style="text-align: right;">364,602,727</td></tr> </table> <p>2 支出</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>人件費・賃金</td><td style="text-align: right;">104,044,726</td></tr> <tr><td>光熱水費</td><td style="text-align: right;">42,108,517</td></tr> <tr><td>委託費</td><td style="text-align: right;">29,435,554</td></tr> <tr><td>消耗品費</td><td style="text-align: right;">7,041,111</td></tr> <tr><td>商品仕入れ費</td><td style="text-align: right;">82,527,914</td></tr> <tr><td>修繕費</td><td style="text-align: right;">9,753,250</td></tr> <tr><td>その他経費</td><td style="text-align: right;">88,266,357</td></tr> <tr><td>合 計</td><td style="text-align: right;">363,177,429</td></tr> </table> <p>3 差引</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td></td><td style="text-align: right;">1,425,298</td></tr> </table>		指定管理料	258,600,000	利用料金収入	8,549,580	環境収入	2,258,580	その他収入(食堂他)	95,194,567	合 計	364,602,727	人件費・賃金	104,044,726	光熱水費	42,108,517	委託費	29,435,554	消耗品費	7,041,111	商品仕入れ費	82,527,914	修繕費	9,753,250	その他経費	88,266,357	合 計	363,177,429		1,425,298
指定管理料	258,600,000																													
利用料金収入	8,549,580																													
環境収入	2,258,580																													
その他収入(食堂他)	95,194,567																													
合 計	364,602,727																													
人件費・賃金	104,044,726																													
光熱水費	42,108,517																													
委託費	29,435,554																													
消耗品費	7,041,111																													
商品仕入れ費	82,527,914																													
修繕費	9,753,250																													
その他経費	88,266,357																													
合 計	363,177,429																													
	1,425,298																													
サービス向上の取組	利用者にアンケートを行い、意見を取り入れた活動を行っている。また、職員研修を実施し、研修成果を新たなプログラム作成につなげるなどサービス向上に取り組んでいる。																													

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	3	3
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	3	3
	(評価の理由)	主催事業の「森の探検団」では、小屋づくりや野外はんごうなどを通し、自然への理解を深め、親子や家族間の交流を図ったほか、「自然紀行 ぐるっとハイキング」では、季節ごとに八ヶ岳周辺のハイキングコースを歩き、八ヶ岳の自然を楽しみながら、健康増進を図るなど、概ね計画どおりの事業が実施されていた。 利用者数は、延べ利用団体数は減少したが、前指定管理時平均に比べ、約7%増加した。 【参考】 第2期指定管理時(平成23年度～平成27年度)平均延べ利用者数:87,253人			
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか					
	(評価の理由)	金銭管理・会計手続については、規則等に従い、適切に処理されている。 効率的・効果的な支出について、ろ過機を更新して水の再利用を進めた結果、平成26年比で7,076m ³ 、約142万円削減するなど、概ね計画に基づいた適切な収入・支出がなされている。			

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	3	3
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	3	6
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	3	6
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>施設・事業の広報について、約200名の登録者に対し、毎月メールマガジンを発行し、主催事業の募集を行っているほか、富士見町から川崎市に赴き、青少年フェスティバル等の各種イベントに参加し、クラブ体験を実施するとともに、施設パンフレットの配布や主催事業の募集を行うなど、施設の認知度を高めるための広報活動を実施した。</p> <p>利用者への対応について、接遇マニュアル、苦情対応マニュアルを定めており、利用者に対する接遇が適切に行われた。</p> <p>学校及び行政機関との連携については、川崎市や富士見町の学校関係団体と積極的に連携するとともに、農業体験などの地域との協力関係を維持するなど、川崎市と富士見町の友好関係がより発展するよう連携・協力が図られている。</p> <p>また、利用者ニーズを把握するため利用者アンケートを実施し、その結果について定期的に改善を検討するなど、利用者の意見や要望を施設管理や事業運営に反映している。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	4	4
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <p>人員配置については、看護師を配置し、利用者のケガなどに迅速に対応したほか、大型特殊免許やフォークリフト、ボイラーなどの資格を持った職員を配置したこと、施設の設備点検、維持補修を適切に行っており、資格を持った職員の知識や経験が事業に活かされている。</p> <p>研修については、職員のスキルアップを図るために必要な研修を行うとともに、キャンプ実習で学んだノウハウを、新たな主催事業である自然体験事業「キッズ自然探検隊」に反映したほか、インタープリター研修では、自然体験の伝え方を学んだことを活かして「森のセラピーウォーキング」という新たなプログラムを作成するなど、研修の成果を新たな事業や業務改善につなげた。</p> <p>個人情報の取扱いについて、個人情報保護規程を遵守し、個人情報の取扱いについて、適切な運用を行った。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	5	5
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	4	4	
	災害発生時のマニュアル等が整備されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>施設・設備の保守管理については、日常点検及び専門業者による定期点検の実施により必要な維持管理が行われているほか、倒木の撤去やU字溝の整備など、安全に配慮して修繕を行っており、施設・設備の保守点検や必要な補修工事が適切に実施されている。</p> <p>利用者の安全確保について、安全管理マニュアルの改訂を行ったほか、野外調理、自然体験活動、危険生物、リスクマネジメント、救急講習など、独自に利用者の安全確保に関する様々な研修を実施するとともに、事故防止のため安全委員会を毎月開催し、職員が業務中に気づいた危険箇所の対策などについて検討し、改善を図っている。</p> <p>防犯対策について、毎日3回の敷地内定期巡回警備を行うとともに、利用者以外の入所者については入所許可証を発行する運用を行うなど、不審者侵入防止等の取組がなされている。</p> <p>災害への対応については、危急時対応マニュアルを整備し、避難訓練を実施したほか、火災報知器の取扱いについて研修を実施するとともに、消火器の追加整備、非常灯や感知器の更新など、火災の発生に備え、消防設備関係の整備を積極的に行った。</p>					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

4. 総合評価

評価点合計	66	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、
C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、
E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

八ヶ岳の自然を十分に生かした事業を展開し、施設の特性を発揮した適切な運営をしており、利用者アンケートに基づく適切な改善を実施することで、満足度・利便性の向上に取り組んでいる。

また、職員のスキルや知識向上のため、多様な研修を実施しているだけでなく、研修で得た知識を事業運営に反映させているところは評価できる。

利用者の安全確保に関しては、各種マニュアルの整備・見直しに加え、災害対策や事故防止についての様々な研修を実施するとともに、安全委員会を毎月開催し、職員の安全に対する意識、危機管理意識の向上が図られているほか、富士見消防署と研修や防災訓練等において十分に連携し、消防設備関係の整備も積極的に行うなど、適切な取り組みが行われている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、利用者の安全を第一に事故、災害の防止、緊急時の適切な対応など、利用者が安全、安心して楽しめる施設となるよう、職員、法人一丸となって適切な施設運営に取り組んでほしい。

また、衛生管理については、八ヶ岳少年自然の家の施設内だけでなく、取引業者も含め、地元保健所とも連携して対策を徹底すること。